

外部評価委員会結果記録書

令和 4 年 2 月 1 8 日作成

<p>評 価 年 月 日</p>	<p>令和 4 年 2 月 1 5 日 (火)</p>
<p>評 価 の 概 要</p>	<p>1 令和 3 年度上半期の取組結果等について</p> <p>電力使用量が増えているが、新電力を導入することで、電力使用量としては増加しても二酸化炭素排出量としては、減ることも考えられるため検討していただきたい。</p> <p>オフィスワークには廃棄物排出量が多いと感じる。</p> <p>研修について、コロナ禍で集まらない状況下においては、オンラインで録画した動画を都合が良いときに見てもらおうという方法もあるので検討していただきたい。</p> <p>2 令和 3 年度事務局監査結果について</p> <p>EMSの運用に係る環境リスクの高い事務について、研修の効果が現れるような改善を図る必要がある。</p> <p>マネジメントシステムの運用と研修を行うことを通して、削減目標に基づいた取組、成果を出せる仕組み作りをすることが重要である。</p> <p>3 第 2 期岡山県クール・エコ・オフィス・プラン（仮）の策定について</p> <p>目標達成のために、ハードとソフトについてどのように取り組めるのか見極める必要がある。職員に対して効果的な啓発を考えることが大事である。</p>

令和 3 年 10 月の外部評価委員改選後に初めて開催された会議であり、新たな委員も含めて議論がなされた。